



## リハビリテーション科の活動

リハビリテーション科は機能訓練室と精神科作業療法室に分かれています。機能訓練室では主にからだの問題を対象に治療します。精神科作業療法室では主に認知症や精神疾患を扱います。法律上、機能訓練室ではマンツーマン、精神科作業療法は集団で治療や機能的訓練を行うことが義務付けられています。

ただし、対象になる患者様を明確に区別することは難しく両方を並行して行う方も少なくありません。当院は認知症疾患医療センターとしての役割も担っており必然的に高齢の方が多く利用されています。老年症候群という言葉があるように、年齢と共にからだだけでなくこころの問題も様々に現れる場合が多いからです。

そこで機能訓練室の特徴として国際PNF協会認定セラピストの資格取得を教育目標として掲げています。リハビリの考え方の一つにPNF概念というものがあります。肩とか腰とかの部分のみを治そうとするのではなく、患者様の社会的背景、地域や家庭の中での立場、役割を考慮する治療概念です。一人の人間として社会参加していくうえでの制約を減らし、取り扱うお手伝いをしようとするのがPNFです。これからの高齢化社会に貢献できる概念です。当リハ科では、このPNF概念に基づいて患者様の状態を評価して目標を立てて治療にあたっています。

外来の患者様も増えてきてリハ科に関しては概ね良い評価を頂いているようですが、まだまだ職員も若く勉強も経験も不足しています。今後も地域の皆様に満足して頂けるようリハビリを提供できるよう頑張っています。

今年度のリハ科の基本方針は「地域に信頼されるリハの提供」です！お困りの節はまず外来整形外科の受診をお願いします。

平成二十六年九月

宮本病院 機能訓練室 室長 石井 篤

## 【9月1日は防災の日】

宮本病院では備蓄庫に食品・飲料水を350人3日分備蓄しています。毎年9月1日と3月11日の昼食に防災食を使用し同時に期限の管理を行い非常時に備えています。今年も防災食としてa米を使用しました。



今年も防災食としてa米を使用しました。a米とは、米を炊いたあとに乾燥させた加工米で長期保存が可能です。水やお湯に浸すと再び食べられる状態になります。

## 【防災訓練実施】

9月4日(木)、防災訓練を実施致しました。当日は、病院裏側斜面の土砂崩れが夜間に発生したことを想定して緊急連絡網の運用・患者搬送・避難誘導など実際の災害に応じた対処方法を学びました。職員全員真剣に取り組む姿がみられました。



このよつな訓練を機に、再度防災意識を見直し、緊急の事態に備えていきたいと思えます。

## 禁煙外来

8月6日(水)より禁煙外来を開始致しました。

厚生労働省による平成24年度の喫煙率調査では20%で前年度より上昇しました。平成元年から比べると減少していますが諸外国と比べるとまだまだ高い方です。是非この機会に禁煙外来を受診いただければと思います。

(担当医師)

宇留間医師 呼吸器科(東京医科大学)

毎週水曜日、完全予約制です。

「お気軽に御相談下さい」

## 第26回健康教室



9月4日(木)、第26回健康教室が行われました。院長先生より「糖尿病について」のお話をさせて頂きました。38名の参加があり、みなさん大変熱心にお聞きなっていました。次回は12月に「変形性関節症」について予定しています。ご参加お待ちしております。